

リーディングDXスクール事業【実践事例】

柏市立手賀東小学校（千葉県）

【取組内容①】 ICT機器を活用した「歴史人物列伝」の作成



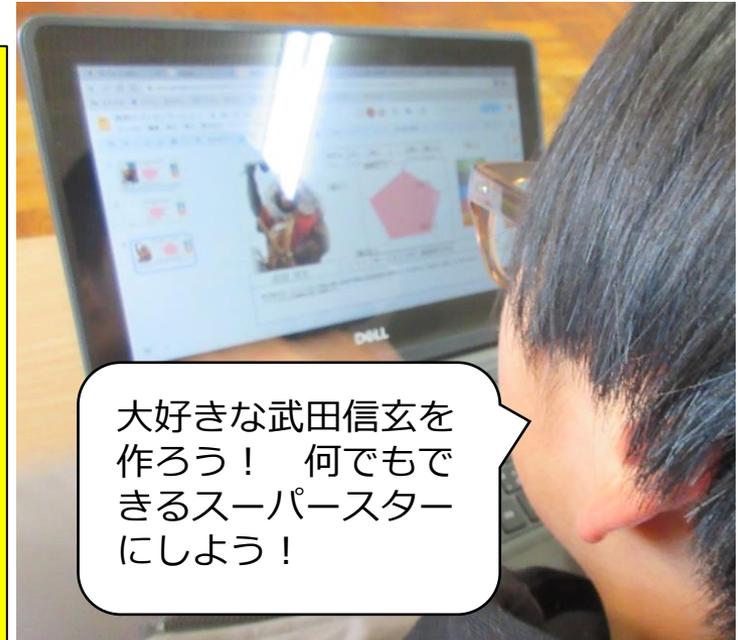
ゲーム
みたいだね！

伊能忠敬は…。知力と魅力が
高そうだな。戦はしないから、
統率力と武力は低そうだ。

本校は、毎週月曜日の朝は全校で「情報の時間」に取り組む。この時間に6年生は「歴史人物列伝」を作成した。自分が興味のある人物を選び情報を集め、人物評を作る取り組みである。人物は「統率力」「武力」「政治力」「知力」「魅力」5つのパラメータがあり、自分で調べて数値を決める。

「歴史人物列伝」の作成を通して、偉人それぞれの個性が分かり、歴史学習への関心意欲が高まった。児童それぞれが偉人を選んで作成することで、個別最適化の学習につながった。より確かなものを作ろうと、ICTを活用して人物について詳しく調べる姿が見られた。

作成した「歴史人物列伝」はプリントアウトして教室掲示をすることで、友達が何を調べたのか共有し合えるようにした。お互いの成果物を見合い、協働的な学習につながった。



大好きな武田信玄
を作ろう！ 何でも
できるスーパースター
にしよう！